

中国地方整備局事業評価監視委員会名簿

(平成19年9月28日現在、敬称略、順不同)

氏 名	所 属	専門分野等（専攻）
【委員長】 とちもと いさお 櫛 本 功	広島大学名誉教授	経済政策、地域経済
【副委員長】 みちうえ まさのり 道 上 正 規	(財)とっとり政策総合研究センター理事長	水工学、防災工学
いのうえ のりゆき 井 上 矩 之	福山大学経済学部教授	交通工学,土木計画学
うえだ しげる 上 田 茂	鳥取大学工学部教授	海洋構造工学,港湾工学
うちだ かずこ 内 田 和 子	岡山大学大学院社会文化科学研究科教授	地理学
すぎもと くにたろう 杉 元 邦太郎	島根大学名誉教授	地域開発論,地域計画
ちば きょうぞう 千 葉 喬 三	岡山大学学長	地域生態管理学
ほりうち ひでお 堀 内 日出夫	中国経済連合会専務理事	地域経済
むらた ひでかず 村 田 秀 一	山口大学副学長	基礎・土質工学
わかつき としじ 若 槻 俊 二	(株)エブリプラン総括顧問	地域経済

平成19年度 中国地方整備局事業評価監視委員会 審議予定（実施案）

担当部	第1回 8月8日開催	第2回 9月28日開催	第3回 11月開催予定	第4回 1月開催予定
河川	千代川直轄総合水系環境整備事業（再評価）	天神川直轄総合水系環境整備事業（再評価）	江の川下流 川越地区改修（再評価）	太田川直轄総合水系環境整備事業（再評価）
	土師ダム貯水池水質保全事業（事後評価）※	斐伊川直轄総合水系環境整備事業（再評価）	芦田川直轄総合水系環境整備事業（再評価）	太田川 土居戸河内地区改修（事後評価）
	温井ダム建設事業（事後評価）※	大山山系直轄火山砂防事業（日野川）（再評価）	大山山系直轄火山砂防事業 天神川水系（再評価）	
小計	3件	3件	3件	2件
道路	一般国道9号 青谷・羽合道路（事後評価）	一般国道2号 安芸バイパス（再評価）	一般国道54号 三刀屋拡幅（再評価）	一般国道9号 駒馳山バイパス（再評価）
	一般国道9号 出雲バイパス（再評価）	一般国道2号 東広島バイパス（再評価）	一般国道30号 児島・玉野拡幅（再評価）	一般国道2号 三原バイパス（再評価）
	一般国道188号 岩国南バイパス（再評価）		一般国道9号 小郡改良（再評価）	一般国道375号 東広島・呉道路（再評価）
小計	3件	2件	3件	3件
港湾空港		浜田港 福井地区 防波堤（新北）整備事業（再評価）		小野田港 東沖地区 多目的国際ターミナル整備事業（事後評価）
		浜田港 福井地区 多目的国際ターミナル整備事業（事後評価）		
小計		2件		1件
合計	6件〈再評価3件、事後3件〉	7件〈再評価6件、事後1件〉	6件〈再評価6件〉	6件〈再評価4件、事後2件〉

※：ダム等の管理に係るフォローアップ制度活用により、委員会に報告する事業

平成19年度 第2回中国地方整備局事業評価監視委員会 審議一覧表

【再評価】

事業種別	事業名	事業概要	経緯	該当要件	対応方針 (原案)	備考
1 河川	天神川直轄総合水系 環境整備事業	天神川水系は鳥取県中部に位置し、その源は三朝町の津黒山に発し、幾多の支川をあわせ、倉吉市において小鴨川と合流後、日本海にそそぐ幹川流路延32km、流域面積490km ² を有する水系である。 本事業は、地域との合意形成を図り、自然環境の保全に配慮しながら、地域特性を生かした水辺整備を行い、水環境の整備とともに水辺空間の利用を推進するものである。	平成10年度 事業着手	事業化後 10年経過	事業継続	
2 河川	斐伊川直轄総合水系 環境整備事業	斐伊川は、島根県東部の日本海側に位置し、流域面積2,070km ² 、幹川流路延長約153kmの一級河川である。その源を鳥取・島根県境に位置する中国山地の船通山に発し、途中、三刀屋川や赤川等支川を合わせながら北流後、出雲平野を流れ宍道湖に流入し、大橋川を通過して中海に入り、境水道を通じて日本海に注ぐ。 本事業は、地域との合意形成を図り、自然環境の保全に配慮しながら、地域特性を生かした水辺整備を行い、水環境の整備とともに水辺空間の利用を推進するものである。	平成10年度 事業着手	事業化後 10年経過	事業継続	
3 河川	大山山系直轄火山砂 防事業（日野川）	大山山系は鳥取県、岡山県にまたがる大山及び赫山からなる山塊で、そのうち大山は中国地方随一の高峰(1729m)である。山系の流域は大きく天神川水系、日野川水系、日本海に直接流入する溪流、及び旭川流域に分かれる。 本事業は、日野川下流域における土砂に起因した洪水氾濫を防ぐために、大山南7溪流において砂防施設を整備するものである。	昭和49年度 事業化	社会情勢の 変化等	事業継続	
4 道路	一般国道2号 安芸バイパス	一般国道2号は、大阪市から北九州市に至る延長約680kmの主要な幹線道路であり、西日本の大動脈として沿道地域の産業・社会活動や住民の生活に大きな役割を果たす重要な路線である。 安芸バイパスは、国道2号の慢性的な交通混雑の緩和、交通安全の確保、周辺地域との連携強化を図ることを目的とした延長7.7kmの4車線道路である。	平成7年度 事業化 平成17年度 事業再評価実施	社会情勢の 変化等	事業継続	
5 道路	一般国道2号 東広島バイパス	一般国道2号は、大阪市から北九州市に至る延長約680kmの主要な幹線道路であり、西日本の大動脈として沿道地域の産業・社会活動や住民の生活に大きな役割を果たす重要な路線である。 東広島バイパスは、国道2号の慢性的な交通混雑の緩和、交通安全の確保、周辺地域との連携強化を図ることを目的とした延長9.6kmの4車線道路である。	昭和50年度 事業化 平成17年度 事業再評価実施	社会情勢の 変化等	事業継続	
6 港湾	浜田港 福井地区 防波堤（新北） 整備事業	浜田港は島根県西部のほぼ中央にあり、関門港と境港の中間に位置しており、島根県唯一の国際貿易港である。 本事業は、増加する原木の輸入や中古自動車の輸出に対応し、ひいては、浜田港背後企業の地域経済・産業活動の発展に寄与する事、並びに荒天時における安全な避難水域を確保し、周辺海域における船舶航行の安全性の向上を図ることを目的に、防波堤の整備を推進するものである。	平成10年度 事業化	事業化後 10年経過	事業継続	

【事後評価】

事業種別	事業名	事業概要	事業年度	備考
1 港湾	浜田港 福井地区 多目的国際ターミナル整備事業	浜田港は島根県西部のほぼ中央にあり、関門港と境港の中間に位置しており、島根県唯一の国際貿易港である。近年、ロシアを中心とした環日本海諸国との貿易により、木材輸入の増加や中古自動車の輸出が急増し、国際貿易港としての浜田港の位置づけは、益々重要なものとなってきている。 本事業は、増加する木材輸入や中古自動車の輸出に対応し、浜田港全体の物流効率の低下を解消する事により、外貨機能等の強化を図ると共に、浜田港背後企業の地域経済・産業活動の発展に寄与する事を目的に多目的国際ターミナルを整備したものである。	H5～H14	

平成19年度 第2回中国地方整備局事業評価監視委員会 対象事業位置図

